

令和3年度 研究

東京センター

- ①認知症の人の希望を叶えるヘルプカード等のあり方に関する調査研究(R3厚生労働省 老人保健健康増進等事業)
- ②BPSDの軽減を目的とした認知症ケアモデルの普及促進に関する調査研究(R3厚生労働省 老人保健健康増進等事業)
- ③認知症介護実践者等養成事業のオンライン化の実装促進及び評価の効果的展開に関する研究(R3厚生労働省 老人保健健康増進等事業)
- ④ケアレジストリ研究データの蓄積と活用に関する研究(3センター協同)
- ⑤web環境を活用した認知症地域支援推進員の活動環境の整備及び活動支援に関する研究事業
- ⑥行方不明ゼロプロジェクト：安心・安全に外出を続けられる地域づくりに関する研究
- ⑦BPSD予測・予防により介護負担を軽減する認知症対応型AI・IoTサービスの開発と実装 (AMED)
- ⑧BPSDケアレジ研究とj-BIRD-PNBにおける非生物学的収集項目決定と室管理(AMED)
- ⑨2020年度全国生協連グループ社会福祉事業等助成事業「認知症介護者支援事業」
- ⑩「認知症ケアスタッフのための自然観察会」効果実証事業
- ⑪アルツハイマー型認知症の人がわかりやすいトイレマークの検討 高齢者施設に勤務する職員を対象とした横断研究

仙台センター

- ①認知症の当事者と家族を一体的に支援する支援プログラムのあり方に関する調査研究事業(R3厚生労働省 老人保健健康増進等事業)
- ②外国人介護人材の認知症介護基礎研修の学習支援に関する調査研究(R3厚生労働省 老人保健健康増進等事業)
- ③介護保険施設・事業所における高齢者虐待防止に資する体制整備の状況等に関する調査研究事業(R3厚生労働省 老人保健健康増進等事業)
- ④高齢者虐待における死亡・重篤事案等にかかる個別事例検証による虐待の再発防止策への反映についての調査研究事業(R3厚生労働省 老人保健健康増進等事業)
- ⑤身体拘束適正化に向けた行政指導・介護施設における取組の実効性に関する研究(日本学術振興会 科学研究費助成事業)
- ⑥認知症介護に関するeラーニング学習効果の持続性と要因に関する研究
- ⑦認知症の本人と家族の評価に基づく介護サービスの在り方に関する調査研究
- ⑧認知症ケアの観点からみた虐待防止・身体拘束適正化に関する調査研究
- ⑨ケアレジストリ研究データの蓄積と活用に関する研究(3センター協同)

大府センター

- ①若年性認知症支援コーディネーターの地域連携体制構築等に関する調査研究(R3厚生労働省 老人保健健康増進等事業)
- ②認知症介護実践者等養成事業のオンライン化の実装促進及び評価の効果的展開に関する研究事業(R3厚生労働省 老人保健健康増進等事業) (3センター協同)
- ③ケアレジストリ研究データの蓄積と活用に関する研究(3センター協同)
- ④介護サービス事業所における認知症利用者の社会参加活動を促進するリハビリテーションプログラムに関する研究
- ⑤ケア現場における課題解決のためのツール作成と評価に関する研究
- ⑥認知機能評価のための食行動尺度(EBS-cog)短縮版の実証研究
- ⑦情報共有システムの活用による若年性認知症支援コーディネーターの活動状況把握と課題分析に関する研究
- ⑧感情表現の強さが制御された音声刺激による認知症患者の感情認知機能の評価
- ⑨ロジックモデルを用いた高齢者施設のケア文化の指標の開発

令和3年度 研修

東京センター

- ① 認知症介護指導者養成研修（厚労省指定）・認知症介護の指導的役割を果たすことのできる人材を養成する（年3回）
※関東、九州地区を担当（covid-19の蔓延状況を考慮し、R3年度の実施は見合わせ）
- ② フォローアップ研修（厚労省指定）・指導者養成研修修了者のさらなるステップアップを目指す（年2回）
※オンライン（zoom）で2回の研修を実施
- ③ 認知症地域支援推進員研修（都道府県委託事業）
※新任者研修（8回）、現任者研修（8回）、いずれもオンライン（zoomウェビナー）でグループワークも交えて実施
- ④ 認知症地域資源連携促進事業（1回）
※都道府県の認知症施策担当者、市区町村の認知症施策担当者・関係者を対象にオンライン（zoomミーティング）で実施

仙台センター

- ① 認知症介護指導者養成研修（厚労省指定）・認知症介護の指導的役割を果たすことのできる人材を養成する（年1回）
※北海道、東北、中国、四国地区を担当
- ② フォローアップ研修（厚労省指定）・指導者養成研修修了者のさらなるステップアップを目指す（年2回）
- ③ 認知症介護基礎研修eラーニング
- ④ 認知症を学ぶ30分ナイトセミナー

大府センター

- ① 認知症介護指導者養成研修（厚労省指定）・認知症介護の指導的役割を果たすことのできる人材を養成する（年3回）
※東海北陸、近畿、甲信地区を担当
- ② フォローアップ研修（厚労省指定）・指導者養成研修修了者のさらなるステップアップを目指す（年2回）
- ③ パーソン・センタード・ケアと認知症ケアマッピング(DCM)法研修
- ④ 若年性認知症支援コーディネーター研修
- ⑤ 権利擁護推進員養成研修（愛知県委託事業）
- ⑥ スーパービジョン実践研修：認知症ケア現場の人材育成技法であるスーパービジョンについて、ロールプレイ等の演習を通して実践的に学ぶ研修会を開催する。
- ⑦ 研究活動継続支援プログラム研修



令和3年度 KPIの達成状況

KPI 26 認知症地域支援推進員の先進的な活動の横展開（東京センター）

web環境を活用した推進員の活動環境の整備及び活動支援	ホームページDCnetにて 推進員・自治体に配信
* 全国オンラインセッションを通じた先進的活動報告と情報交換の推進 * R3年度 推進員の先進的活動事例の報告資料	

KPI 27 全認知症地域支援推進員が新任者研修・現任者研修を受講（東京センター）

	令和3年度受講者数	令和3年度までの累積受講者数
新任者研修	2,389	13,008
現任者研修	857	2,423

KPI 36 介護従事者に対する認知症対応力向上研修受講者数（2020年度末） 認知症介護指導者養成研修 2.8千人（仙台センター、東京センター、大府センター）

	令和3年度受講者数	令和3年度までの累積受講者数
認知症介護指導者養成研修	38	2,695

令和2年 受講しやすさを向上するためのカリキュラム改訂(認知症介護実践者研修・リーダー研修を含む)を実施（老健事業：事務局仙台センター）

KPI 38 認知症対応プログラムの開発（東京センター）

BPSDの予防・軽減に資するケアモデルのあり方に関する研究	ホームページDCnetにて検討経過を公表 R4年度に手順・要件の実証調査を実施予定
* 認知症の人のBPSDの軽減を図るためのケアの手順・要件及びBPSD評価尺度について検討（令和3年度老人保健健康増進等事業）。	

令和3年度 KPIの達成状況

KPI 52 市町村の圏域を越えても対応できる見守りネットワークを構築 (東京センター)

行方不明ゼロプロジェクト：ただいまをかなえるネットワークづくり	ホームページDCnetにて 資料を全国に公開
* 全国オンラインセミナーを通じた見守り・SOS体制づくりの好事例の報告	

KPI 53 全都道府県でヘルプカード等のツールを活用 (東京センター)

令和3年度研究「希望をかなえるヘルプカード」普及資材セット開発	全都道府県に資材セットを配布。 ホームページDCnetにて全国に公開
スタートガイド、本人用ガイド、カードひな形、普及動画、普及チラシ	

KPI 65 全若年性認知症支援コーディネーターが初任者研修・フォローアップ研修を受講 (大府センター)

	受講対象者数	受講者数	受講率
初任者研修	125	117	93.6
フォローアップ研修	112	95	84.8

KPI 66 全国若年性認知症支援センターがコーディネーターから受ける相談件数の増加 (大府センター)

令和2年の受講状況相談件数

○コーディネーター：120件（令和元年 50件）

○行政担当者：112件（令和元年 17件）

